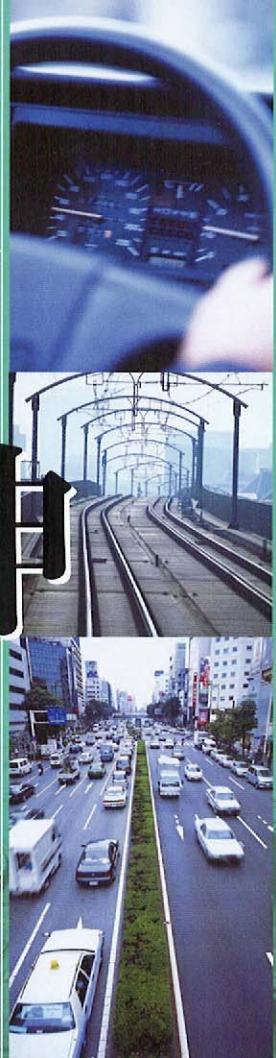


みんなで考えよう 車社会 そして

北大阪急行線

extension plan of kita osaka kyuko line

延 伸

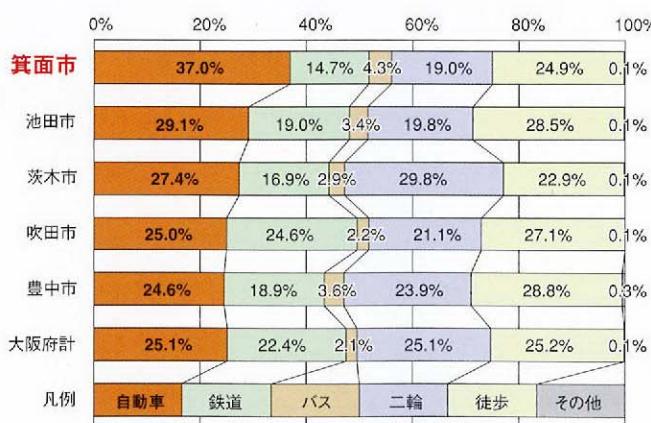


extension plan of kita osaka kyuko line

あなたの生活はクルマに頼りすぎて
いませんか?

● クルマ依存度の高い箕面市民

・箕面市民が普段の移動に自動車を使う割合は37%と、周辺市に比べ約10%も高くなっています。



クルマに頼りすぎると…



- 交通事故増加
- エネルギー消費量増加
- 渋滞イライラ
- 地球温暖化の原因となる温室効果ガス(CO₂, NOx etc)の排出量増加

資料:第4回京阪神都市圏パーソントリップ調査結果より



これからの社会は？

- 考えよう、自分や家族の将来、地球の将来 -

ますます進む高齢化

- 我が国では、急速な高齢化により、2014年には国民の4人に1人が65歳以上の高齢者となる見通しです。
- 高齢者の8割は、日常の外出に対して前向きであり、自動車の運転が困難になった高齢者にとって、日々の生活を支える公共交通の重要性が高まっています。



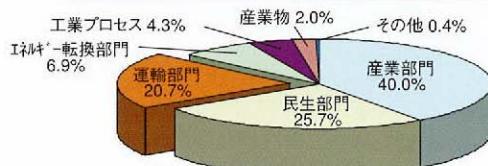
誰もが安心して参加できる社会へ

- 鉄道駅や公共施設、道路等のバリアフリー化、公共交通機関の整備などを通じ、誰もが安全に、安心して移動できる環境がより強く求められています。

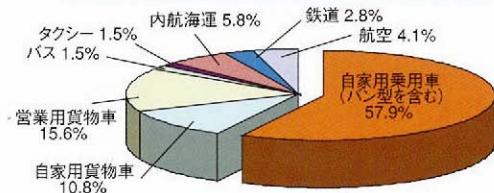
深刻化する環境問題

- 我が国の二酸化炭素の排出量は1990年度と比べて約11%増加していますが、平成17年2月16日に発効した京都議定書では、2008年～2012年に6%減らすことが義務づけられています。運輸部門においては、特に自家用乗用車からの排出量の削減が重要な課題となっています。

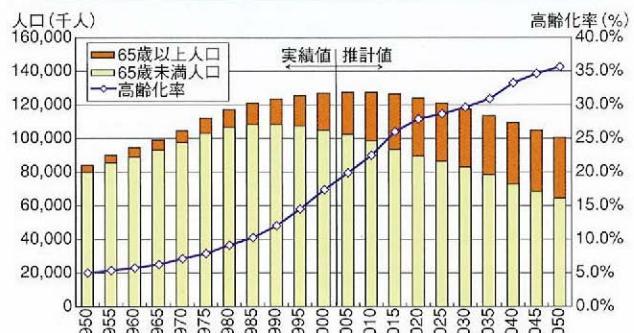
部門別二酸化炭素排出量（2000年度）



輸送機関別二酸化炭素排出割合（2000年度）



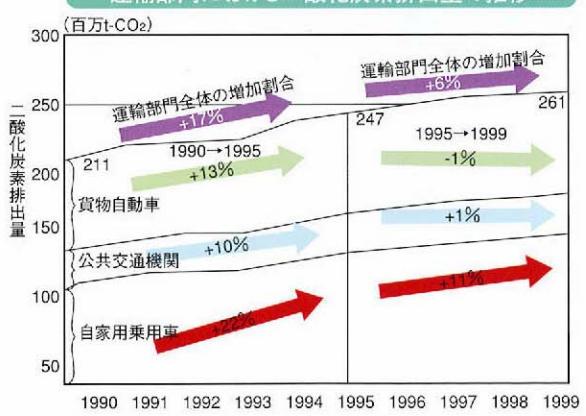
日本の人口と高齢化率



高齢者の日常生活に関する意識



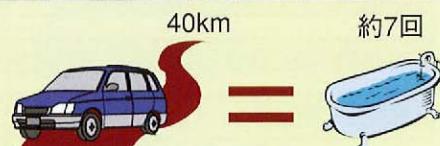
運輸部門における二酸化炭素排出量の推移



豆知識

クルマで40km走る=お風呂1週間分！ クルマはCO₂を大量に排出します

- 自動車は1km走るごとに、二酸化炭素を約50g排出します。
- 家庭用のお風呂を1回沸かす時に発生する二酸化炭素は約280gです。
- よって、箕面市と大阪都心部をクルマで往復すると(約40km)、お風呂1週間分に相当する二酸化炭素を排出します。

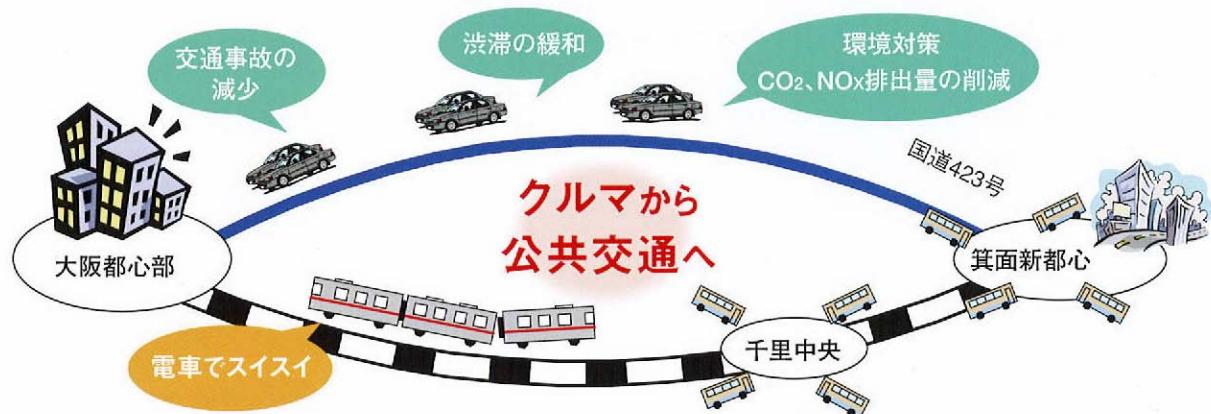


人と環境にやさしい交通体系づくりへ

-これからの社会に不可欠な公共交通-

● もっと公共交通を使いましょう

- ・公共交通は、
 - ◇誰もが安心して利用できる、人に優しい交通手段です
 - ◇環境負荷の小さな、環境にやさしい交通手段です
 - ◇安全な交通手段です
 - ◇輸送力が大きく、道路混雑の緩和に効果のある交通手段です



鉄道の事故率は自動車の7000分の1

- ・鉄道は安全な乗り物です。



人と環境にやさしいバス

- ・人にやさしい「ノンステップバス」、環境にやさしい「CNG(天然ガス)バス」などの導入が進んでいます。



ノンステップバス

CNGバス

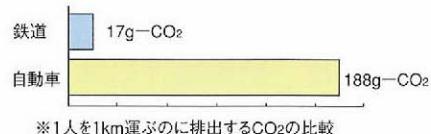
鉄道の輸送力は道路95車線分

- ・ラッシュ時の地下鉄御堂筋線の乗客を全て道路で輸送すると、95車線が必要です。



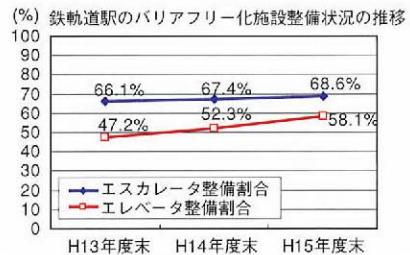
鉄道のCO₂排出量は乗用車の10分の1

- ・鉄道は環境にやさしい乗り物です。



誰もが利用できる公共交通へ

- ・鉄道の駅では、バリアフリー化が着実に進められています。



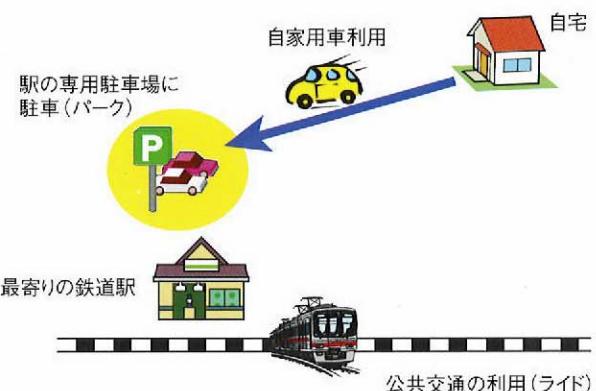
より便利に、使いやすく

- ・共通カードやICカード等の導入により、バスと鉄道の乗継ぎや鉄道どうしの乗換えがスムーズに行えます。

クルマの使い方を工夫しましょう

● クルマは近くの駅までに！

- ・最寄りの駅までクルマを利用し、駅周辺の専用駐車場にクルマを止めて、そこから鉄道に乗り換えるパーク・アンド・ライドが近畿の各地で実施されています。
- ・クルマから公共交通への転換により、交通渋滞の緩和などに効果が期待できます。



● クルマはみんなで使い合って！

- ・欧米では、カーシェアリングという新しいマイカー利用の方法が定着しつつあります。
- ・カーシェアリングとは、会員制で1台の自動車をみんなで利用する仕組みです。
- ・彩都（国際文化公園都市）では、カーシェアリングが実用化されています。

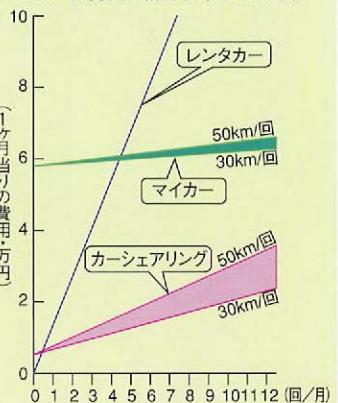


豆知識

クルマの保有コストってどのくらい？

- ・マイカーを保有した場合、全く使わなくとも月に数万円も支出していることがあります（費用には購入費用を含む）。
- ・1週間に1回程度の利用であれば、その都度レンタカーを借りた場合とほとんどコストは変わりません。
- ・カーシェアリングであれば、より低コストで利用できます。

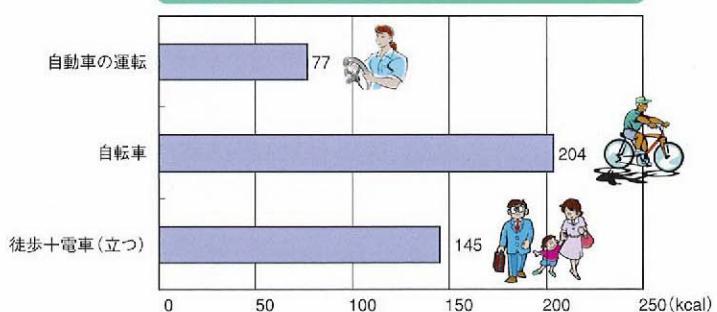
マイカー維持費の計算例(1500cc車)



● もっと歩くや自転車の利用を！

- ・健康のためにも、歩くや自転車をもっと活用しましょう。
- ・歩く+電車による移動は、自動車の運転に比べ約2倍のダイエット効果があります。
- ・一部の鉄道駅では、レンタサイクルサービスが実施されています。
- ・箕面市では、大阪府と共同で平成16年の紅葉シーズン中に、箕面駅前で電動アシスト自転車やレンタサイクルの貸し出しを行う社会実験を実施するなど、公共交通をいっそう便利にし、利用を拡大することで、交通渋滞を緩和し、地域を活性化するための施策の推進につとめています。

移動手段ごとの消費カロリー(1時間あたり)





extension plan of kita osaka kyuko line

ご存じですか？北大阪急行線の延伸計画

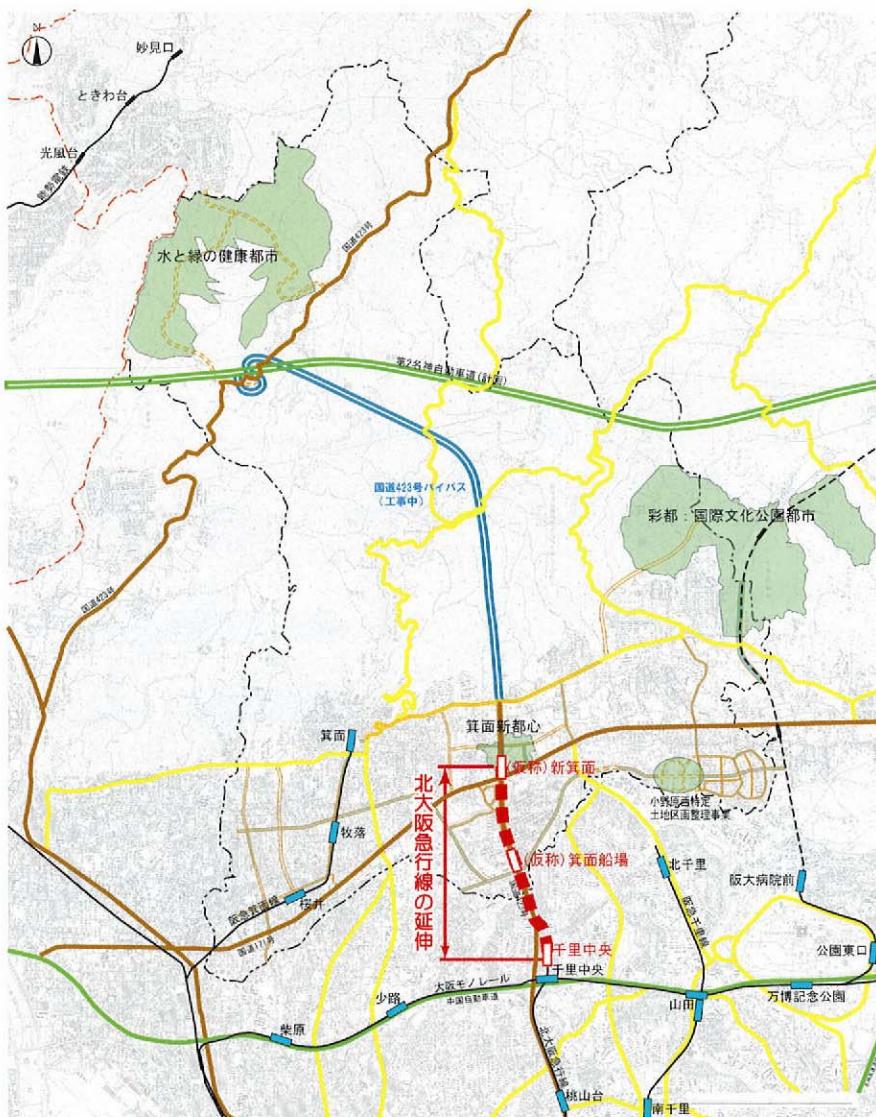
● 北大阪急行線延伸は、人と環境にやさしい交通体系づくりに重要な役割を果たします

- ・新たな駅ができ、公共交通が使いやすくなります。
- ・都心方面への道路交通混雑の緩和や環境負荷の軽減に貢献します。

● そして、箕面の魅力的なまちづくりに貢献します

- ・駅ができるにより多くの人が集まり、広域的な交流が生まれます。
- ・駅と駅周辺が一体となった、新たなまちづくりが期待できます。

北大阪急行線の延伸計画は、近畿地方交通審議会答申第8号(平成16年10月8日答申)で、「京阪神圏において、中長期的に望まれる鉄道ネットワークを構成する新たな路線」として位置づけられました。



北大阪急行線の延伸でこんなに便利に

● 鉄道駅へ徒歩でアクセスできる範囲が広がります

- ・新駅が2つできることで、これまで既存の鉄道駅に対して徒歩では遠かった地域が、鉄道駅の徒歩圏になります。
- ・箕面市内で、新たに鉄道駅の徒歩圏となる地域の人口は、約2万5千人にのぼります。

● 大阪都心方面への利便性が向上します

- ・新たな鉄道駅の徒歩圏内であれば、千里中央駅での乗換え・待ち時間がなくなり、大阪都心方面への所要時間が大幅に短縮されます。
- ・また、徒歩圏以外の地域でも、バスのルートやサービス水準の改善が期待できるため、これまでより利便性が向上します。



所要時間の変化

これまで



延伸後は

北大阪急行線延伸推進会議

事務局 箕面市役所 鉄道延伸担当
〒562-0003 大阪府箕面市西小路4丁目6番1号
TEL 072-723-2121(代) FAX 072-722-2466